

令和6（2024）年度資源評価調査報告書（拡大種）

種名	イイダコ	対象水域	瀬戸内海
担当機関名	水産研究・教育機構 水産資源研究所 底魚資源部、大阪府立環境農林水産総合研究所水産研究部水産技術センター、兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター、岡山県農林水産総合センター水産研究所、香川県水産試験場、福岡県水産海洋技術センター豊前海研究所	協力機関名	

1. 調査の概要

瀬戸内海の各府県において、本種に関する漁業の概要、生物学的特性、過去の漁獲量やCPUEならびに現在実施されている各種漁獲制限などの情報収集もしくは調査を行った。詳細については以下の通り。

大阪府では、標本漁協における全漁業種による漁獲量情報を元に、1980年以降の漁獲量およびCPUEデータの推移を示した。

兵庫県では、兵庫県海域における小型底びき網漁業による漁獲量データを収集した。

岡山県では、県東部および西部海域において小型底びき網を用いた標本船CPUEデータを収集した。

香川県では、播磨灘（3漁協）、備讃瀬戸（1漁協）および燧灘（2漁協）各海域の香川県標本漁協における小型底びき網による2002年以降の漁獲量およびCPUEのデータを収集した。

福岡県では、2019年より小型底びき網による年別CPUEデータを収集した。

2. 漁業の概要

瀬戸内海の各府県各海域における本種を対象とした漁業の概要について、各府県単位で記述した。詳細については以下の通り。

大阪府では、主に小型底びき網で漁獲され、周年操業を行うが、近年本種の漁獲量は激減している。

兵庫県では主に小型底びき網で漁獲される。

岡山県では主に小型底びき網で漁獲される。

香川県では主に小型底びき網で漁獲される。

福岡県では主に小型底びき網で漁獲される。

3. 生物学的特性

(1) 分布・回遊：・北海道南部以南の日本全国から中国・朝鮮半島南部、中国沿岸の浅海底に分布（奥谷 2017）。

(2) 年齢・成長：

- ・寿命は1年。

(3) 成熟・産卵：

- ・産卵期は2～8月（瀬川 2013）。産卵期間中は合計約290個の卵を複数回に分けて産卵する（吉川ほか 2016）。4～5月に産卵期となる中国・青島海域において、雌は6月から卵巣が発達し始め2月以降に成熟する。一方、雄の精巣は雌よりも先に成熟が完了し、9月には成熟し翌年4月まで成熟状態が継続する（Wang et al. 2015）。

(4) 食性：

- ・甲殻類または貝類を捕食する。

4. 資源状態

瀬戸内海の各府県各海域の標本漁協における漁獲量とCPUEの推移を示す。

- ・大阪府の標本漁協における2019～2023年の漁獲量とCPUEは1980年以降において過去最低の水準を更新した（図1）。月別のCPUEは3月に多少大きなモードが見られる（図2）。
- ・岡山県海域についてはデータの収集を始めたばかりであり、長期的な傾向は把握できないが、ここでは2カ所の標本漁協における2023年の海域別月別の漁獲量を示した（図3、4）。なお、県西部の標本船（1隻）において前年まではある程度のまとまった漁獲が見られていたが、2023年には月の出漁日数が減少したため、資源状態を反映していないと考えられる（図4）。
- ・兵庫県海域および福岡県海域についてもデータの収集を始めたばかりであり、引き続き調査を継続する必要がある。
- ・香川県における灘別の小型底びき網の漁獲量とCPUEは、播磨灘、備讃瀬戸では2015年以降、燧灘では2017年以降、いずれも低い水準で推移している（図5～7、表1）。

5. その他

- ・岡山県では、漁業者の自主的な取り組みとして小型底びき網袋網の目合い拡大などの措置を講じている。

6. 引用文献

- 奥谷喬司 (2017) イイダコ. 「日本近海産貝類図鑑」奥谷喬司編, 東海大学出版部, 平塚, 1147.
- 瀬川 進 (2013) イイダコの日々. 「日本のタコ学」奥谷喬司編, 東海大学出版会, 秦野, 126-140.
- Wang, W., G. Dong, J. Yang, X. Zheng, X. Wei and G. Sun (2015) The development process and seasonal changes of the gonad in *Octopus ocellatus* Gray off the coast of Qingdao, Northeast China. *Fish. Sci.*, **3**, 309-319.
- 吉川廣幸・井野靖子・岩谷淳司・森島 輝 (2016) 小型水槽を用いたイイダコの水槽内産卵及び初期胚発生に関する研究. 水産大学校研究報告, **64**, 178-181.

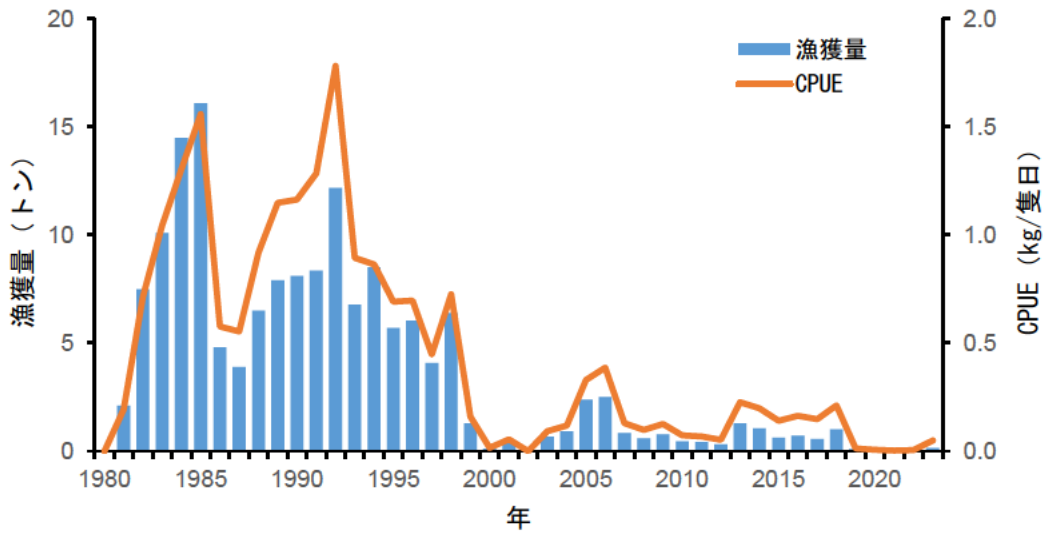


図1. 大阪府の標本漁協における1980年以降の小型底びき網漁業でのイイダコ漁獲量ならびにCPUEの推移

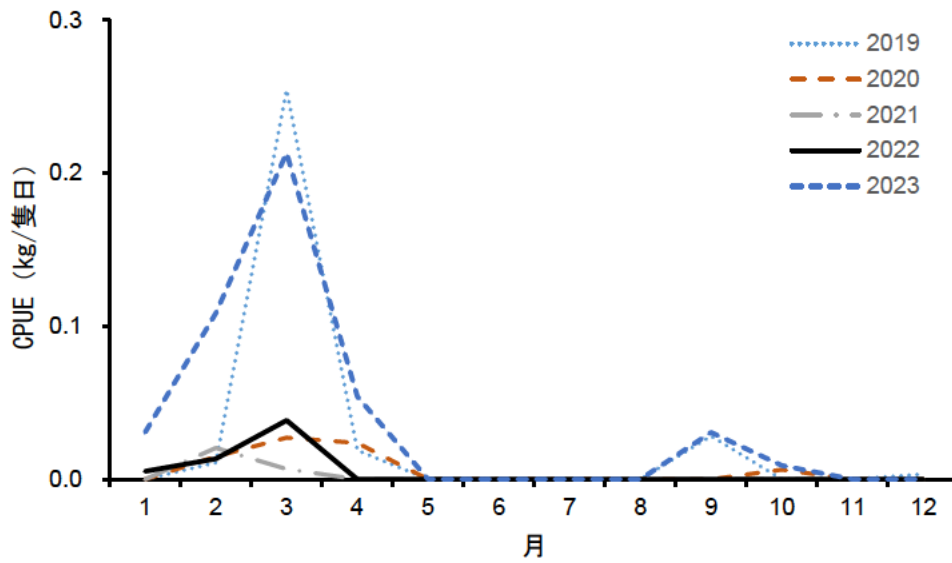


図2. 大阪府の標本漁協における2019～2023年の小型底びき網漁業による月別のイイダコCPUE

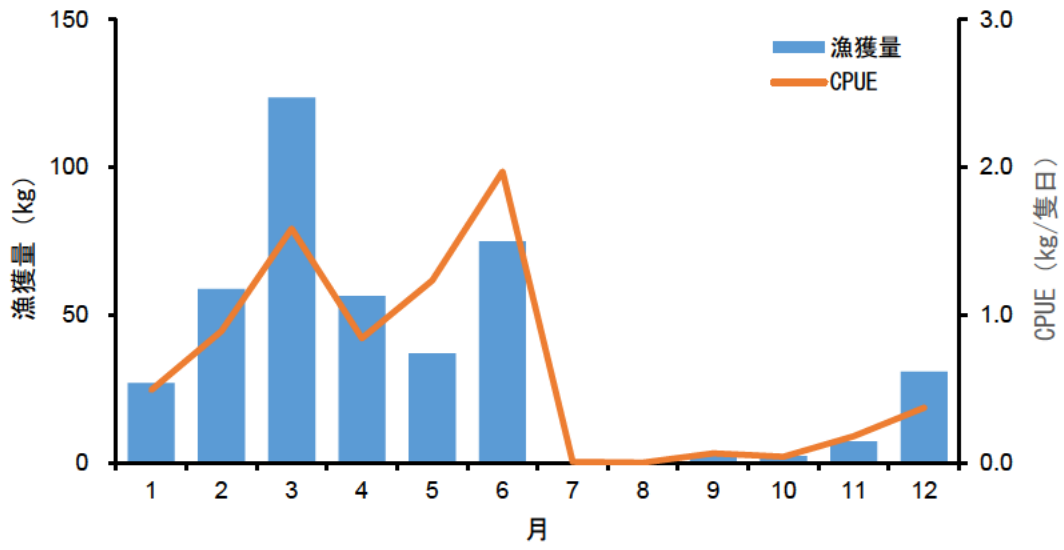


図3. 岡山県東部海域の標本漁協（牛窓町漁協）における2023年の小型底びき網標本船（8隻）によるイイダコの月別の漁獲量ならびにCPUEの推移

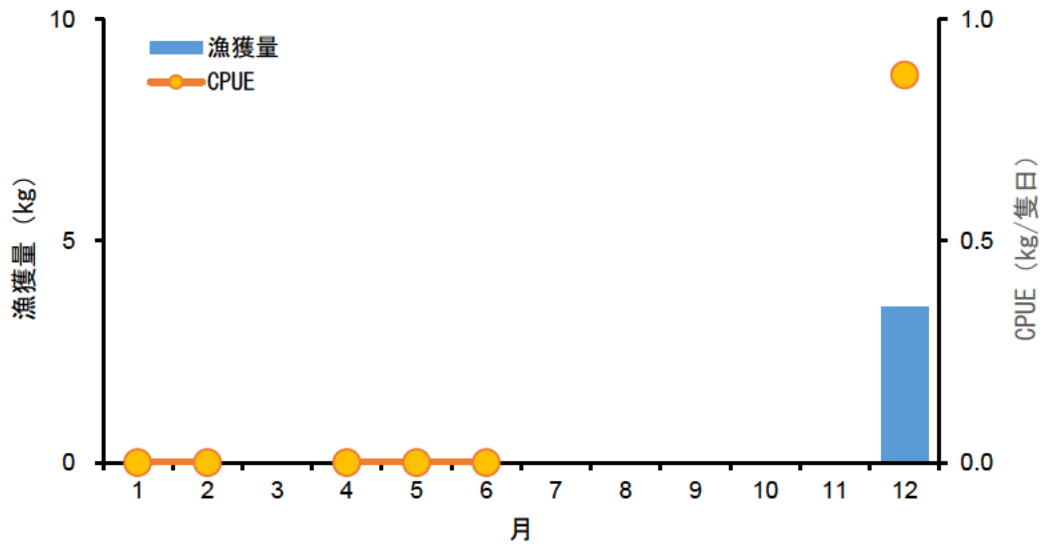


図4. 岡山県西部海域の標本漁協（寄島町漁協）における2023年の小型底びき網標本船（1隻）によるイイダコの月別の漁獲量ならびにCPUEの推移

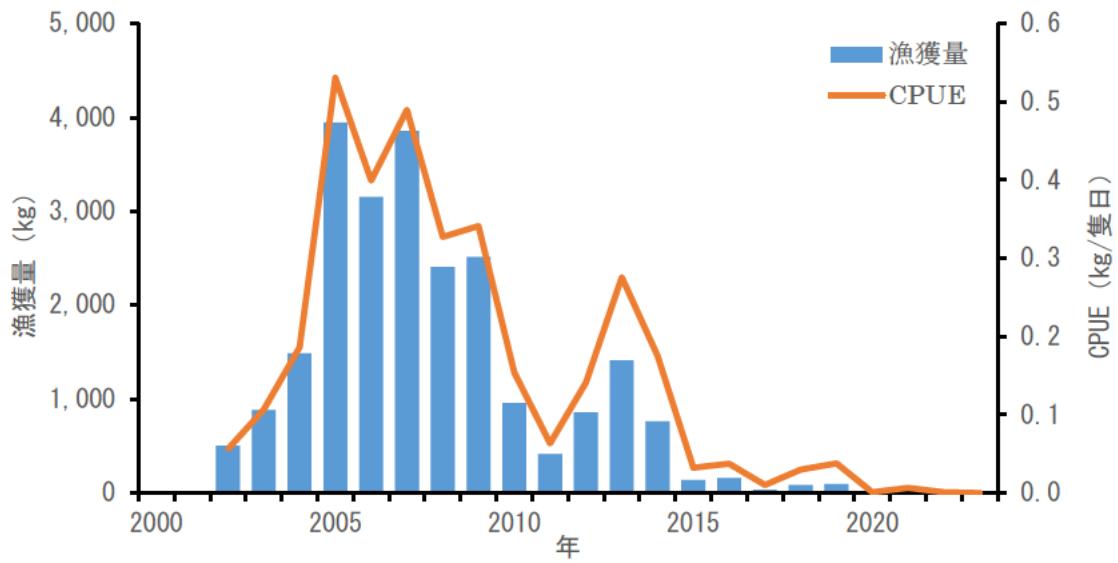


図 5. 香川県播磨灘の標本漁協における小型底びき網によるイイダコ漁獲量ならびに CPUE の推移

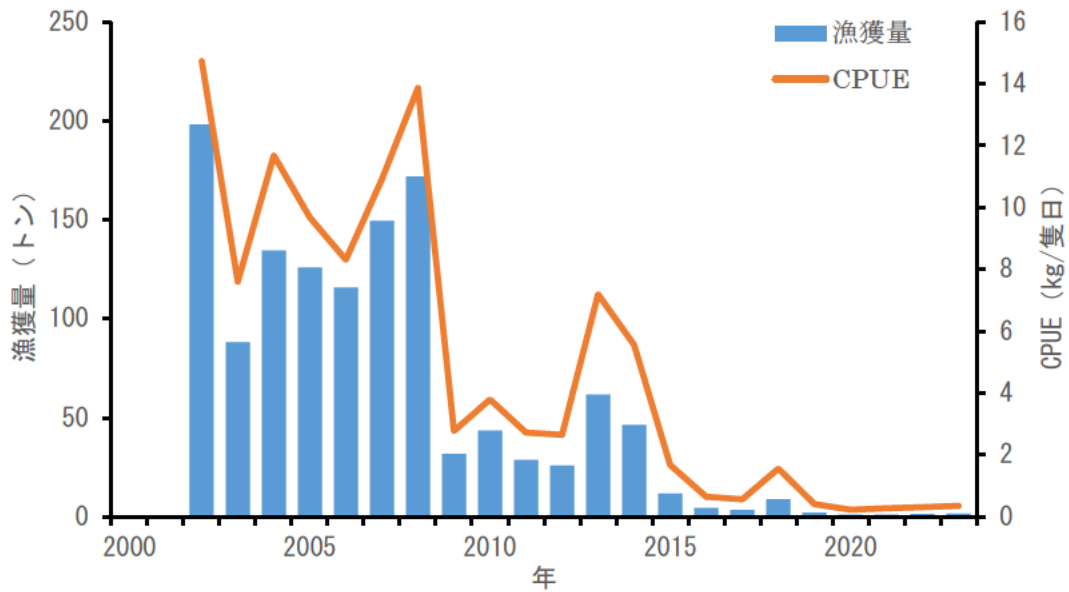


図 6. 香川県備讃瀬戸の標本漁協における小型底びき網によるイイダコ漁獲量ならびに CPUE の推移

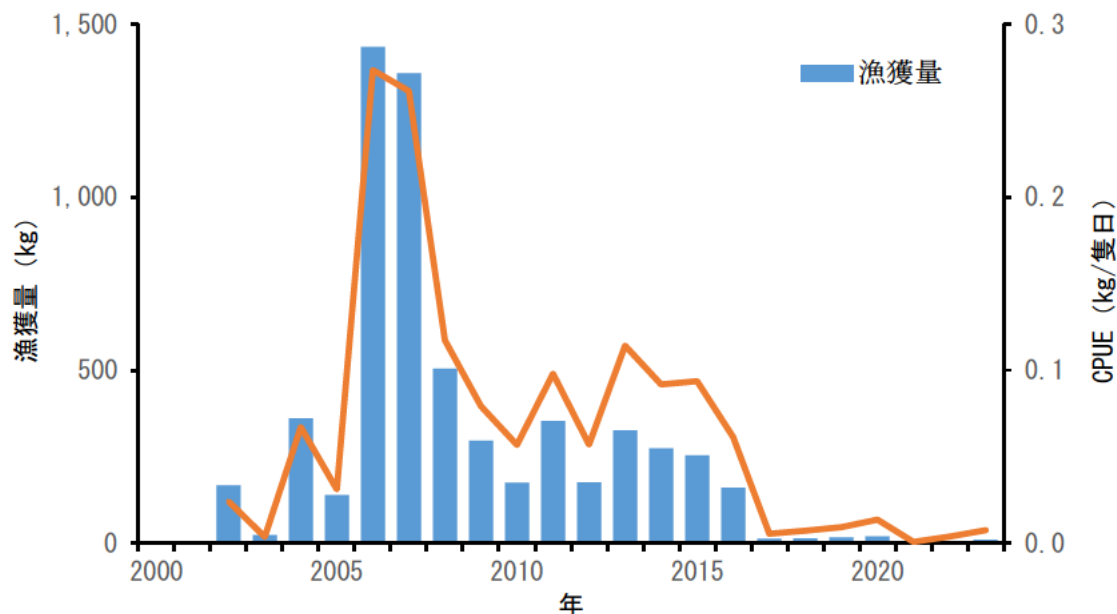


図 7. 香川県燧灘の標本漁協における小型底びき網によるイイダコ漁獲量ならびに CPUE (オレンジ線) の推移

表 1. 香川県の標本漁協における灘別イイダコ漁獲量*の年変化

県名 漁協名 漁法	香川県		
	3漁協 (播磨灘)	庵治漁協 (備讃瀬戸)	2漁協 (燧灘)
	小型底びき網	小型底びき網	小型底びき網
2002	504	198,120	167
2003	885	88,230	23
2004	1,486	134,508	361
2005	3,948	125,927	139
2006	3,153	115,747	1,434
2007	3,857	149,423	1,359
2008	2,408	171,888	505
2009	2,513	31,765	297
2010	957	43,536	175
2011	416	28,816	353
2012	856	25,835	177
2013	1,413	61,707	326
2014	764	46,451	274
2015	137	11,717	254
2016	160	4,440	160
2017	33	3,466	13
2018	83	8,849	14
2019	94	2,197	17
2020	2	1,080	20
2021	18	1,081	1
2022	2	1,376	4
2023	0	1,540	10

* 漁獲量：単位 (kg)